平成30年度　るすつ小型児童館主催　地域交流事業講演会

植松電機代表取締役　植松　努氏　講演会

「思うは招く」～夢があればなんでもできる～

講演日　平成30年10月31日

【趣旨】

るすつ子どもセンターぽっけでは、開設以来、村内の児童生徒、地域の方々を招き、北海道各地で活躍するプロフェッショナルな人物を招き、自らの意識を高める機会を提供する場として講演会を実施してきました。平成28年度はレバンガ北海道の折茂武彦代表、平成29年度は北海道コンサドーレ札幌の野々村芳和代表取締役の講演会を開催し、スポーツをとおして得た経験から、大切な時間の過ごし方を児童生徒に伝えていただきました。３回目となる平成30年度については、北海道赤平市で自家製ロケット開発し打ち上げた「株式会社植松電機代表取締役植松努氏」を招き、「夢があればなんでもできる」をテーマに講演会を開催します。

地域の方の参加も歓迎いたします。お誘い合わせのうえご来場ください。

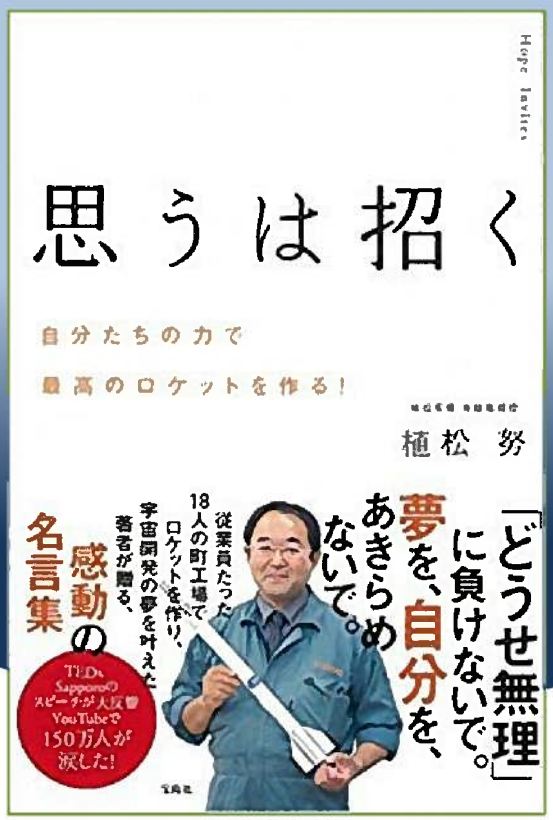
○　講演会開催日時
　平成30年10月31日（水曜日）
　13時30分から15時00分

○　入場無料

○　講演会聴衆対象者
　留寿都中学校１年生～３年生
　留寿都高等学校　１年生～３年生
　地域住民の方

○　講演時間
　90分程度を予定しています。

○　場所
　るすつ子どもセンターぽっけ
　児童館遊戯室



植松 努氏 プロフィール

株式会社植松電機　代表取締役
株式会社カムイスペースワークス　代表取締役
ＮＰＯ法人北海道宇宙科学技術創成センター理事

1966年　北海道芦別市で生まれる。
　子どもころから紙飛行機が好きで宇宙にあこがれ大学で流体学を学び、名古屋市で航空機設計を手がける会社に入社する。
1994年　実家のある北海道に戻り父（植松清）が経営する植松電機に入社後、廃棄物からの除鉄、選鉄に使う電磁石の開発製作に成功する。
1999年　コンクリート圧砕機用アクティブマグネット方式を考案する。
2004年　カムイ式ロケットの研究を行っていた北海道大学大学院の永田教授に出会う。
　宇宙を楽しく学ぶ子どもたちのためのスペースキャンプを開催する。
2005年　青年版国民栄誉賞「人間力大賞グランプリ」を受賞する。
　北海道大学とカムイ型ロケットの共同研究を開始する。
2006年　植松電機敷地内に微小重力実験等が完成する。
　人工衛星「HIT-SAT（ヒット－サット）の開発に携わり打ち上げに成功する。
　株式会社カムイワークスを設立　代表取締役に就任する。
2007年　カムイロケット250sの打ち上げ実験で到達高度3,500Mを達成する。
2008年　カムイロケットを１年間で18機打ち上げる。
　小中学校の工場見学／体験学習業務を本格化し始める。
2009年　宇宙航空研究開発機構（JAXA）と共同で打ち上げ実験を実施する。
　ＡＲＣプロジェクトの開始準備を始める。
2010年　ＡＲＣプロジェクトを開始する。

全国各地での講演やモデルロケット教室を通じて、人の可能性を奪う言葉である「どうせ無理」を無くし、夢を諦めないことの大切さを伝える活動を行っている。

Copyright(c)2011 uematsu Electric co.Ltd All Rights Re

【植松　努氏著書】
「ＮＡＳＡより宇宙に近い町工場」
「想うは招く」
「空想教室」
「「どうせ無理」と思っている君へ」
「あきらめない練習」